



宇佐神宮 (一)

鳳凰山 神野良英

宇佐神宮

宇佐神宮は神亀二(七二五)年の創祠となる豊前国の一之宮で、全国におよそ四万四千ほど存在する八幡宮の「総本宮」でもあります。

さて、この宇佐神宮札は種類が多く、例によって中分類を入れながら一つ一つ見ていこうと思いますが、版木の組み合わせも複雑で、最も分類の難しいところとなるかもしれません。

ちなみに、現存する最古のものは文政七年発行の「銀會所札(八錢札)」ですが、それ以前は発行札もあつたといわれており、これについては文化年間に発行となる「御用商人札(政屋札/佐藤札)」を指すとの見解もあるようです(本譜ではこれら一連の「商人札(私人札)」は割愛させていただきます)。

なお、宇佐神宮札に見られる「八錢」や「七錢」といった表記は「それぞれ沓匂が八〇文や七〇文に相当する」ことを示したものです。

宇佐神宮札は種類が多いため、誌面の都合上、二回に分けて掲載させていただきます。

銀會所札 (A)

○表 銀會所 八錢札

- ・ 八錢拾匁(赤)【6】①
 - ・ 八錢五匁(赤)【6】②
 - ・ 八錢沓匂【未見】
 - ・ 八錢五分【未見】
 - ・ 八錢三分【300】③
 - ・ 八錢貳分【未見】
- 拾匁札と五匁札には未使用札? が比較的多く残されているようです。

○表 銀會所 七錢札

- ・ 七錢拾匁【300】④
- ・ 七錢五匁(青)【450】⑤
- ・ 七錢沓匂(赤)【80】⑥
- ・ 七錢五分(黄)【300】⑦
- ・ 七錢三分(黄)【200】⑧

こちらの「七錢札」(後掲の「亀川札」を含む)には、豊前・椎田村の「岩田屋札」の版木が流用されているようです。

○表 銀會所 七錢札

裏 両替引請亀川

- ・ 七錢拾匁【100】⑨
 - ・ 七錢五匁【未見】
 - ・ 七錢沓匂(赤)【40】⑩
 - ・ 七錢五分(黄)【150】⑪
 - ・ 七錢沓分(灰)【250】⑫
- こちらは裏面に「両替引請亀川」(豊後・亀川村)と入るものです。

表面は拾匁札が前掲札の版木をそのまま? 用いているのに対し、沓匂札と五分札は一部のみの流用となっています。

裏 両替會所札 (B)

- 裏 両替會所 八錢札
- ・ 八錢拾匁【150】⑬